



2020年10月15日

各 位

会社名 株式会社 トップカルチャー
 代表者名 代表取締役社長 清水 秀雄
 (コード番号 7640・東証 第1部)
 問合せ先 取締役 管理部長 遠海 武則
 T E L 025-232-0008
<http://www.topculture.co.jp>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年10月15日付の取締役会決議に基づき、2019年12月6日に公表いたしました2020年10月期通期業績予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年10月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年11月1日～2020年10月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	28,700	222	175	151	12.50
今回修正予想 (B)	30,100	405	417	366	30.29
増減額 (B-A)	1,400	183	242	215	
増減率 (%)	4.9	82.4	138.3	142.4	
(ご参考)前期実績 (2019年10月期)	31,185	174	154	135	11.25

2020年10月期通期個別業績予想数値の修正 (2019年11月1日～2020年10月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	28,000	171	151	12.50
今回修正予想 (B)	29,427	405	351	29.05
増減額 (B-A)	1,427	234	200	
増減率 (%)	5.1	136.8	132.5	
(ご参考)前期実績 (2019年10月期)	30,537	167	150	12.44

2. 業績予想修正の理由

当社グループの軸である蔦屋書店事業において、緊急事態宣言に伴う外出自粛要請による巣ごもり需要の高まりに応えるために、コミックや児童書などの書籍販売や、家でも楽しめるホビージャナル、食品ジャンルなどの特撰雑貨・文具の販売を強化、拡大することで売上高が好調に推移、また、マスク・除菌グッズなどの衛生用品の販売を強化することで、売上高は前回発表予想を上回る見通しとなりました。

利益面におきましては、前述した主力商品の売上伸長が奏功し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を大幅に上回る見通しとなりました。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上